

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

1. ワクチン希積分注

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望	
横浜市薬剤師会	市大附属病院薬剤部によるワクチン調製手技の研修会に各区から8名ずつの参加。その後各区でワクチン調製出動予定者に研修を実施。 ワクチン調製出動予定者は各区で募集するほか、横浜市薬剤師会でも横浜市病院協会を通じて市内病院勤務薬剤師からも参加者を募集。横浜薬科大学教員にも協力を要請した。 集団接種会場一会場あたりおよそ1日8名、最盛期は36会場で業務を行った。大規模接種会場では一日最大14人体制でワクチン調製業務に従事した。	41%	非会員の薬局勤務薬剤師も区薬の募集に応じて特別会員として従事。 病院勤務薬剤師、チェーン薬局薬剤師、横浜薬科大学教員	ワクチン調製業務は横浜市からの委託事業。接種時間・予約枠数に応じて委託料が払われた。		会場の接種時間・予約枠に応じた多様な出動体制を設定し、シフトに応じた出勤費を支給した。	ワクチン調製時に過剰希釈などの調製ミスが発生した。 調整物の質（気泡の程度、針の曲がり等について接種担当者と意を異にするケースがあった）	会員薬局に勤務する非会員の入会促進	特になし	事業計画段階の早期から薬剤師会との意見交換を行い、円滑に事業が実施できるスキームづくりを心がけてほしい。
鶴見薬剤師会	会員から参加希望者を募り、講習会を行い、受講した方を横浜市から指示された会場へ振り分けた。	30%	済生会東部病院の薬剤師にも協力して貰った。	横浜市薬剤師会経由で報酬が支払われた		出勤日が集中。 振り分けに苦労したが、病院薬剤師の協力があってもらった。	なし。	なし。	なし。	
港北区薬剤師会	横浜市薬剤師会から依頼を受け、港北区役所、大規模接種会場の希積分注業務を担う。区役所は3~5名、大規模は2~3名で実施	30%	会員薬局の非会員や非会員薬局に声をかけ参加してもらう	横浜市主導のもと実施 地元での説明会は三師会で確認	会員以外にも依頼文を送付	高齢者の薬剤師さんに手伝わせるか	非会員薬局との連携	勝手に方針を決めるな	型にはまった動きでない方がいい	
川崎市薬剤師会	川崎市・市内広域病院（聖マリアンナ等）・川葉で協議を行い、週のうち4日程を川葉が担当した。会員に参加者募集をした。	22%(参加会員数/総会員数)	曜日を決め、地元広域病院薬剤部に担当して頂く日を作った	行政と緊密に連携を取った		ワクチン調製の為の講習会の開催や、情報伝達専用サイトを作成し逐次情報伝達を会員へ行った。また出勤先を防止するためにWebによる事前チェックサイトを作成。各区に担当役員を配置し、ワクチン接種会場との密な連絡を行った。	監査役の見守り等の個人的主観により、シリンジ内泡の混入等の基準がまちまちの為にトラブルが複数回発生。統一基準を作るも完全解消に至らず。参加会員が非常に多数のため、出勤先事故が一定数発生し対応策に苦慮した。	次回発生した場合、薬剤師の接種の可能性を模索すべき。		
相模原市薬剤師会	研修会を8回開催し、全310名が参加。研修会受講を参加の条件として非会員も含め募集を行った。令和3年5月16日から令和4年9月30日までに15箇所の会場で、延べ2,261人の薬剤師が対応し、全市民654,416人の約88.5%の接種（1回以上接種の方）に協力した。	31%	会員が所属する薬局の非会員だけでなく、会員が1人もいない薬局勤務の場合や、勤務地や居住地が市外の場合や薬局以外でも研修会参加を条件に協力いただいた。また病院勤務薬剤師は研修会参加の義務は免除し市内等の12軒の病院、延べ71人の病院薬剤師にもご協力いただいた。	必要機材や当日の運営方法を調整し、実施前に他医療関係団体とともに現地訓練を実施。調整業務に対し市から報酬が支給された。	期間を区切って研修会参加者に会場別日程に対応可能など手挙げをいただき、毎月WGにて当番編成を行った。病院勤務理事が病院勤務薬剤師の当番編成に全面的に対応いただきスムーズに編成ができた。木曜日は病院薬剤師、土曜も半数位が病院薬剤師、日曜日は薬局薬剤師が主に対応した。	市が医療職を全て派遣会社に依頼した会場や日程があり、意思疎通が行えなかった。			結果的には薬剤師会の方から行政に働き掛けた。今後は医師会だけでなく同時に薬剤師会にも声をかけて欲しい。	
横須賀市薬剤師会										
逗葉薬剤師会	会員から参加希望者を募り、講習会を行い、1日2名が集団接種会場にて希積分注業務を行った。	25%	地域内の非会員薬局にも声がけし2名の薬剤師に参加していただいた。また会員薬局の非会員の勤務薬剤師14名の方々には半年度限り免除の会費の逗葉薬剤師会臨時会員として執務に参加。内1名は有料の個人会員として次年度以降も会に加わっています。	逗子市、葉山町では医師会に一括で委託したため、逗葉医師会より勤務した薬剤師に報酬が支払われた。	ワクチン希釈業務に参加する薬剤師（会員非会員に係わらず）に講習会に参加してもらった	逗子市の集団接種会場において希積分注のワクチンバイアルを見希釈のものと誤って生理食塩水で再希釈したものを6名の方に注射してしまふ事故が発生した。定められた正しい手順どおりに行われなかったのが主な原因。	事故の内容を希積分注業務に参加する薬剤師に共有し、手順を遵守するよう徹底した。			
三浦市薬剤師会	三浦市と「新型コロナワクチン接種体制調整等業務委託契約を締結し、ワクチン集団接種会場へ会員薬剤師を派遣した。 2021年4月16日 希釈手技講習会 19名出席 2021年5月23日～2023年6月11日の間に62回の集団接種が実施され、26名の薬剤師が延べ105回出動した。	50%		前述のとおり、三浦市と契約を締結し報酬が支払われた。						

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
平塚中郡薬剤師会	会員から参加希望者（総勢132名）を募り、講習会（延5回）を行い、1日8名が平塚市内、大磯町役場、二宮町役場等の各接種会場で希釈分注業務を行った。当初は市民に対する相談対応も行う予定であったが、相談対応についてはほとんど行うことなく終了した。	45%	非会員薬剤師20名程度	各行政より、報酬が支払われた。	都度、参加後における問題点の抽出と参加者へのフィードバック。	・毎週土日の8会場、1年以上に及ぶフト表の作成作成。 ・調製業務における質の担保。	薬剤師のレベルアップ（注射薬調製手技）	看護師より質の高い業務を行えることができる薬剤師の専門性をアピールしてください。	特に無し。
鎌倉市薬剤師会	鎌倉市内では、ほぼ集団接種会場にてワクチン接種を実施。薬剤師が希釈分注を行った。参加希望を募り、講習会を数回実施。	30%	会員ではない病院薬剤師にも参加依頼をした。	集団接種は、医師会と行政の契約のもと実施された。薬剤師会は医師会から協力依頼され参加することとなった。					薬剤師会に直接協力依頼、契約をしてほしい。
藤沢市薬剤師会	会員及び会員の薬局から参加希望者を募り、講習会を行い、1会場2名～8名が接種会場にて希釈分注または分注業務を行っている（希釈業務が入るかはワクチンの種類による）。現在も継続中で、今年度中は業務に携わる予定である。	40%	会員薬局の勤務薬剤師及び会員家族の薬剤師は非会員も応募可としたため、参加している。集団接種に病院協会が協力したため、医師や看護師を派遣した病院の薬剤師も登録し、参加している。	集団接種会場におけるワクチン希釈分注及び分注業務は市の委託事業。	必要な備品、消耗品等に気を配り、希釈分注を実施しやすいよう工夫した。 事前に研修会を開催、マニュアルの作成、共有をすることで安心して業務にあたることができ、当日はリーダーを置くことでスムーズに伝達、作業できるようにした。	行政、医師会との連携に加えて、薬業連携が加わったため、混乱があった。適切な接種会場の確保が難しく、温度管理が大変だった。	集団接種の終了に向けて、行政等とのさらなる連携。	特になし。	今後の集団接種日程の早期構築。
小田原薬剤師会	小田原市・南足柄市・箱根町・湯河原町・真鶴町・上郡5町(2カ所)に1～5名を派遣。	27%	25名	小田原市月1～2回程度、三師会と行政で対策会議を実施	実施前に実技講習を行った	派遣箇所が多くシフト作成に苦慮した。 開催されない場合の派遣予定者への補償が不透明であった			開催されない場合の派遣予定者への補償が不透明であった
茅ヶ崎寒川薬剤師会	茅ヶ崎市と寒川町に連絡を取り、ワクチンの希釈分注業務に薬剤師が必要とのことを伺い、会員薬局に勤務する方から、参加希望者を募り、講習会を行った後、各会場にて希釈分注業務を行った。希釈・分注作業のほかに相談対応も業務に含まれていたがその対応はほとんどなかった。	30%	会員薬局勤務の非会員の方も協力した。（協力者全体の20%）また、行政の都合で接種日等が増えたため、行政が派遣薬剤師の手配も行った。	行政とその業務に係る薬剤師の派遣について業務委託契約を結び、薬剤師会にはその報酬が支払われた。また、協力者には行政より報酬が支払われた。	各会場ですムーズな業務となるよう、マニュアルを作成し掲示等を行った。また、問題点等についても薬剤師会で吸い上げ、行政との調整等を行った。協力者への連絡については薬剤師会からの一斉メールで行う形を取った。	接種会場、接種日程の変更が多くその対応に苦慮した。		行政区により対応は違ってくると思うが、どの地域でどのような対応を進めているといったような情報を共有できれば、もっと動きやすかったと思う。	事前に相談もなく、突然中止（会の協力不要）となった。しっかり、先を見通した計画を立て、相談をしながら、対応をしていただきたかった。
秦野市薬剤師会	会員から参加希望者を募り、講習会を行い、毎日曜日1日5名が午前午後接種会場にて希釈分注業務を行った。	20%	市より当会に依頼されたので会員以外の参加は無かった。	実施は市が主体で、当会同様に医師会も対応した	慣れない業務であり、病院勤務経験がある会員により、事前に講習会を開催した。	本来勤務日でない、平日に交通機関運休により委託先の担当者集まらず、緊急で会員を招集した。			
厚木薬剤師会	会員から参加希望者を募り、講習会を行い、1日28名が接種会場にて希釈分注業務を行った。	40%	無	補助金が市から支給された。	薬剤師会でライングループを作り、終わったら連絡と不具合の情報共有を行った。	無	無	無	薬剤師会をどんどん頼ってほしい。
大和綾瀬薬剤師会	大和市が実施する集団接種会場に、会員薬剤師を派遣するために参加者募集を実施。参加希望者に対して市立病院薬剤科から薬剤師を招聘し手技を実習。それをうけた薬剤師を会場に派遣。	11%(参加会員数/総会員数)	なし	薬剤師の推薦を市から受けた形式	ワクチン調製の為の講習会の開催	接種希望者により、必要となる薬剤師数が一定にならないため調整に苦慮すること。一部の医療機関は、近隣の薬局にワクチンの分注を依頼し、安値で買取医療機関で接種しているとも聞いた。このような事例は多くないと思いたい問題と考える。	次回発生した場合、薬剤師の接種の可能性を模索すべき。	治療を目的とした注射ではなく、予防を目的とした注射は薬剤師が薬局で接種するようにすること。	
伊勢原市薬剤師会	会員薬局・非会員薬局を含め、広く参加希望者を募り、事前講習会を行った。1日2名が接種会場にて希釈分注業務を行った。	20%	集団接種回数が減ってから会員のみでの作業としたが、希釈分注作業をきっかけに非会員の方の入会が複数名あった	医師会と市で日程、必要人数を決定し、薬剤師会へ派遣依頼があり、依頼に応じて募集を行った	体調不良等急な変更にて、事前に出勤可能日を把握するようにした。	接種希望者が土曜日に集中するため、集団接種日が土曜日が多かったが、シフトの関係で参加希望者が少なく人員確保が難しかった	現状の対応を継続	各地域での情報提供	しっかりとした予算提供

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
海老名市薬剤師会	会員から参加者を募り薬剤情報、手技についての研修会を行った。特に衛生面に注意し、実技研修を実施した。	40%	人員不足のため非会員の薬剤師が1名参加した。	集団接種開始前に海老名市、医師会、歯科医師会、救命救急士、薬剤師会で集団接種共同訓練を実施し、集団接種が開始されてからも月に1回ミーティングを実施し改良点、注意点を話し合った。また薬液未充填による空打ちを防止するため医師会、歯科医師会、薬剤師会と協力しシリンジ監査トレーを企画・開発した。	添付文書、適正使用ガイド等を用いて新たな情報の収集に努め、想定されるリスクの洗い出しを行った。針刺し事故、コアリング、バイアル内の陽圧陰圧の確認等重点的に研修を行った。	スムーズに実施できたので特になし	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会	会員から参加希望者を募り、講習会を行い、1日2名が接種会場にて希釈分注業務を行った。	18%	無し	医師会からの委託業務（日当が支払われた）	無し	無し	無し	他県の薬剤師会のようにワクチン希釈研修会等、何かしらの協力があってよかったと思う	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

2. ワクチン保管・配送

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	なし								
鶴見薬剤師会	横浜市が行った。								
港北区薬剤師会	特になし								
川崎市薬剤師会	初期に冷蔵庫電源不調などの不備が発生したため全て川崎市職員が専任として担当することになった。	なし	市職員対応	市職員専任	市職員専任により不明	市職員専任により不明	市職員専任により不明		
相模原市薬剤師会	上記の希釈分注業務時に集団接種会場における温度管理や在庫管理を行った。								結果的には薬剤師会の方から行政に働き掛けた。今後は医師会だけでなく同時に薬剤師会にも声をかけて欲しい。
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会									
三浦市薬剤師会	ワクチンの保管は行政が行い、配送は医薬品卸売販売業の許可を併せ持つ薬局が、運送業の臨時許可を取得し、各医療機関に配送している。	6%							
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会	保健所から配送されるワクチンをディープフリーザーで保管し、接種実施医療機関のうち配送を希望する153医療機関へワクチン及び消耗品並びに必要な書類等を希望個数に小分けして配送。現在も令和5年秋開始接種用ワクチン保管・配送対応中。		事務局職員及びパート薬剤師3名、パート事務員2名が従事。	ワクチン等管理・配送は市の委託事業。	保健所と連絡を密に取り合い、変更点に柔軟に対応できるよう心掛けた。	繁忙時の人員不足。配送希望医療機関数及び配送ワクチン数が一定しない。ディープフリーザーの電源確保。	医療機関含めた関係機関との連携。	地域の状況把握及び格差解消のための努力。	今後のワクチン配送の枠組みの早期構築。(について国への要望)
小田原薬剤師会		-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	-								
秦野市薬剤師会	委託無く市が対応	0%							
厚木薬剤師会	無	無	無	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	全て市が実施	なし	市職員対応	市職員専任	市職員専任により不明	市職員専任により不明	市職員専任により不明		
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	会員から参加者を募り研修会を行った。ワクチンの保管方法、注意点について確認を行った。	40%	人員不足のため非会員の薬剤師が1名参加した。	集団接種会場へのワクチンの配送は海老名市が行った。シリンジ、アルコール綿、ノンアルコール綿、メディパッチ等の備品は医師会、海老名市が中心となって必要分手配いただいた。	ワクチンを保管する冷蔵庫内の温度確認、冷蔵庫のコンセントの接続確認を毎回必ず確認した。異なるロットのワクチンを同一日に使用する場合は「ロット切り替わりシール」をトレーに貼付した。	スムーズに実施できたので特になし	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会									

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

3. 消毒薬・マスク等衛生用品の供給

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液は学校薬剤師に配付、マスクは会員店舗に等分に送った ・最初に市業から衛生用品の補給があったが、アンケートを取った結果、会員薬局ではある程度充足していたので余った衛生用品については行政に寄付を行った。 ・初期のマスク不足の際にマスクを大量購入し、会員薬局へ無料配付を行った。 ・ファーストリテイリング社の医療従事者向けのマスク配付に要望のメールを送り、提供していただいた。それを会員薬局へ無料配付、休日診療所で使用した。 ・数量に限りがあったため、一部の会員に供給・会員薬局に配付・子ども食堂に衛生用品を寄付した ・初期の不足時期に、中国ルートにて会員用のマスク（1箱50枚入）を区業で購入。 全会員に無償配付した（1種会員10箱、2種会員3箱）。 ・市業等から配付されたマスク、消毒用アルコールを会員薬局へ配付 マスク入荷困難時の泉区薬剤師会から泉区薬剤師会所属の薬局へのマスクの供給 	70%~100%	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会から衛生用品が寄付されたことを区役所のHPでPRして頂いた。 ・歯科医師会と合同で行った ・区業会計から出金 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面に留意しつつ配付した ・歯科医師会と物品が被らないようにした ・事務室に入りきらない物品量のため、役員で手分けして配付拠点薬局を設置。 ・個人会員には業者配送した。 ・会員数で数量調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・会担当者の負担が大きかった。 ・品質に関しては多少不安があった。マスクは50枚に1枚の頻度で不良品が混在していた。 ・配付方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な配送方法を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の徹底と行政との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を密にしてほしい
鶴見薬剤師会	消毒薬は、横浜市。 マスクは、持参。								
港北区薬剤師会	行政や薬剤師会から送られたものを会員薬局に小分け	10%	特になし	郵送で送られてきた	会員用に小分けした	消エタが大きな容器で来たので小分け用の容器が必要だった	配布する基準を決める	分けて配布して欲しい	もう少し分けやすい数で欲しい
川崎市薬剤師会	全会員へ数度マスク無料配布を行った。	100%	特になし	行政より支給あり	極力迅速に対応するため個別郵送を行ったほか、各区業にまとめて配送し各区業から会員に配布した。	エタノール等の水剤の小分け配布は非常に難しい。	次回発生時に検討予定		
相模原市薬剤師会	手指消毒用エタノールの代替品としての特定アルコール（高濃度エタノール）の無料配布を令和2年5月28日、29日、6月4日、5日に会員薬局を対象に実施し、105件の薬局に配布した。								
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会									
三浦市薬剤師会	県業・神奈川県等から支給されたものは各薬局に供給したが、ガウンが余っている								
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会	駅前周辺での手指消毒啓蒙活動にて、アルコールの配布、正しい消毒の指導を数回行った。	20%	なし	なし	薬剤師会で正しい手指消毒方法の小冊子作成				
藤沢市薬剤師会	県業より支給されたマスクを当会学校薬剤師と当会会員薬局へ配布した。	100%							

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
小田原薬剤師会	地域の業者へ交渉を行い、会員薬局へマスクの配布を行った。 三師会で協力し無水エタノールの希釈分注を行い会員薬局へ配給した。			各師会へ配架された一斗缶を共同で希釈・分注した。希釈場所として保健センターを利用	遮光ボトルやラベル印刷等を共同で用意	本来、消防法上保管場所の届出が必要であった		薬剤師会へ配架された一斗缶が1本のみで医師会・歯科医師会との格差が大きい。各々差是正を望む	
茅ヶ崎寒川薬剤師会	国、市などの備蓄品の各薬局への配布に協力した。				会員薬局以外の地域の薬局への周知のため、薬剤師会のHPに掲載した。	会員薬局以外への連絡方法があまりなく、薬剤師会のHPでの連絡のみだったため、会員薬局以外の地域の薬局には十分な対応はできなかった。	地域の薬局との連携	予定されている配布物があるのであれば、事前に連絡をしてできるだけまとめて欲しかった。頻回の対応で、配布する側も配布される側も大変だったと思う。	
秦野市薬剤師会	会備蓄のマスク・アルコール消毒薬を市内幼稚園・こども園・小学校・中学校に無償で提供した。また、会備蓄の感染防止グッズセット800セットを秦野保険事務所に寄贈した。	会のみで対応					会として防災グッズを備蓄していく		
厚木薬剤師会	県から支給された消毒薬やマスク等衛生用品を各会員薬局に配った。	100%	無	医師会に頼まれて一斗缶のエタノールの希釈を薬剤師会で行った。	瓶の精製水を購入してエタノール希釈しその瓶で分注した。	精製水をかなりの量捨てないといけなかった。	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	とくになし	なし	特になし	なし	なし	なし	次回発生時に検討予定		
伊勢原市薬剤師会	国等より支給された消毒薬・マスク等を会員薬局へ配布を行った	100%	なし	衛生用品の供給	会員へ平等に配布出来るように心掛けた	コロナが落ち着いてから大量に物資が届き、在庫となっている	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	海老名市薬剤師会としては実施していない								
座間市薬剤師会									

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

4. 発熱外来の調剤応需

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	・会員店舗でシフトを作成し、医師会・行政と連携し対応を行った ・陽性者に服薬指導を行う場合、感染拡大防止をどの様に行ったらよいかを会員薬局に情報共有した。 ・会営薬局で休日急患診療所の処方応需を行った。 ・土日祝日、連休は輪番体制にて対応した。輪番リストを医師会と共有した。 ・感染対策を行いながら実施・	20%前後	なし	・対応薬局のリストを医師会に提出 ・医師会の運営日に開局 ・市からの手当支給有り	・区内をエリアで分け対応した ・医師会のご協力により、動線を工夫 ・医師会と事前共有したため、突然の処方応需は回避できた。 ・発熱患者に対しインターホン等を使用し薬局内への入れ込みを防止	・非対応薬局に依頼があった ・会員外の薬局でも対応できる場所はあったと思うが、会員薬局でとりまとめたため、負担がかかってしまったように思う ・依頼文の発信と締切の期間が短く、調整に難儀した ・一般患者との動線	・医師会・行政との更なる連携を図る ・会員、会員外との薬局間連携・会員間の情報伝達が素早くできる方法への見直し。 ・一般患者との動線分け	・依頼の発出をもっと早めにして欲しい	・手厚い補助金を希望します。 ・依頼の発出をもっと早めにして欲しい。
鶴見薬剤師会	営業時間内は、各薬局が行い、休日は、参加募集に応じた薬局で輪番制で対応。	10%	未確認	休日対応薬局のホームページで公開。			なし。		
港北区薬剤師会	地域体制加算を取得している会員薬局を中心に依頼	20%	特になし	対応薬局の一覧を配布	各薬局に電話で依頼	会長が頑張ったので大きな問題はなかった	会員薬局が算定している基準を確認しておく	地域支援体制加算等取っている薬局に協力するように言うべき	発熱外来等初めてやることをもう少し考えて動いて欲しい
川崎市薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	川崎モデルを作成するにあたり、会長が連日川崎市行政と協議を行った。	薬局店頭に掲示する患者向け告知ポスターを複製。自宅療養者の対応についてスキームを作成し医師会と連携して支援体制を整備した。	連日の川崎市行政との協議において情報が日々変化・変更するため、役員間での情報共有が難しくなった。			
相模原市薬剤師会	市内2か所の会営薬局において、別ブースにて発熱者への投薬を行った。								
横須賀市薬剤師会	横須賀市救急医療センターでコロナ患者向けの特別対応（ドライブスルー・発熱外来など）を行った。 (2020年12月14日～2023年5月8日) ① 救急センター内出勤者数：58名（延べ出勤人数：1619人）（期間：2020年12月～2023年5月8日） ② ドライブスルー外来常駐薬剤師数：19名（延べ出勤人数：110人）（期間：【1期】2020年12月14日～24日、【2期】2022年12月5日～2023年2月12日） ③ 発熱患者調剤件数：1578件（ドライブスルー外来終了後の発熱受診者のセンター内対応） ④ ドライブスルー調剤件数：2992件（予製のみで対応できずにセンター内で調剤を行った件数） ⑤ 予製作成件数：31821件 ※ドライブスルー外来について 診察時間 平日20時～22時、土曜17時～22時、日祝8時～22時まで コロナ患者の振り分け外来を目的とし2020年12月～23年5月まで救急医療センター駐車場内に設置された仮施設での対応、与薬 ※発熱外来について 上記期間のうち、ドライブスルー外来終了時間後に受診した発熱患者、おもに22時以降に一般患者とは診察室を分けて診療を行った患者（投薬については一般患者同様、センター内で調剤を行い、薬剤師が投薬する）	30% (77人)		横須賀市医師会管理・運営の救急センターへ薬剤師を派遣					

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
逗葉薬剤師会	個々の薬局の判断により対応	25%	無						
三浦市薬剤師会	17/17	100%	不明						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	コロナ治療薬備蓄薬局の情報共有	-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	会員薬局の開局時間等のリストを、医師会に提供し対応。会員薬局にはその旨を周知協力を依頼。夜間、休日については会の運営する薬局を中心に対応。			会員薬局以外の地域の薬局については行政がリストを作り医師会に提供	医師会と連携を取り、薬局で感染を広げないための処方箋発行から投薬までの流れを作成し、医師会でも周知してもらった。	当初対応医療機関を市民に公表する予定だったが、突然非公表となり、市民に十分な医療が提供できたかどうか疑問である。左記の流れに沿わない患者等もあり、当該薬局から薬剤師会に連絡があった。再度医師会に依頼をかけた。		他地域の成功事例等をリアルタイムで確認するすべがあったらとても役に立つと思う。	
秦野市薬剤師会	会員薬局に対応を要請、休日診療所は会営業局が対応しました。	20%							
厚木薬剤師会	薬剤師会としては休日夜間診療所への薬剤師の派遣。あとは個々の薬局で対応	休日夜間診療所以外は把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない
大和綾瀬薬剤師会	市医療センターにおいて輪番で薬剤師が対応	不明	なし	医師会医師会と協議を行った。	とくになし	特になし			
伊勢原市薬剤師会	休日夜間薬局にて発熱外来の調剤を行った	35%	なし	医師会と市で発熱外来の対応について話し合った後、薬剤師会へ連絡があり、薬の受け渡し方法等調整を行った	なし	休日夜間薬局内での問題いはなし	医師会との話し合いで対応	なし	なし
海老名市薬剤師会	発熱者が診療を終了し速やかに服薬ができるよう発熱外来における処方箋の対応ができる薬局リストを作成し発熱外来を行う医療機関に配布した。またコロナウイルス感染症治療薬の取り扱いの有無について調査を実施した。	80%	なし	なし	発熱外来における処方箋対応薬局リストに、コロナウイルス感染症治療薬の取り扱いの有無の他に、薬局の営業時間連絡先、駐車場、最寄駅、近隣目印についても表記した。	特になく、順調に進めることができました。	対応薬局リストを順次更新できるようにしていく。	特になし	特になし
座間市薬剤師会	地域の神奈川モデル協力薬局にて対応をした	21%	無し	日・祝当番は医師会より協力費が支払われた（原資は神奈川モデルの協力金と思われる）	無し	協力者を集めること（開設者以外の薬剤師は会社の許可が必要等）	いかに協力者を集めるか	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

5. 調剤薬の配送 (CoV自宅)

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員店舗でシフトを作成し、医師会・行政と連携し対応を行った ・会員薬局全体で対応した・区薬からメール発信で応需・配達・配送依頼を各会員に呼びかけた ・COV自宅処方に対し、配送協力薬局を集約。リスト化し、医師会と共有した。 ・医師会、医療機関からの要請にて随時対応・市内他区のクリニックからの調剤応需体制を整えた ・神奈川県医師会オンラインクリニック休日対応を輪番制で行った ・横浜市医師会土曜日オンラインクリニック対応を輪番制でおこなった。 ・泉区医師会休祭日オンラインクリニック対応をおこなった 	25~30%	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・対応薬局のリストを医師会に提出。 ・医師会・行政・配達による投薬は特例措置で対応 ・医師会の運営日に開局（・輪番表を医師会に提出した ・市独自に協定を締結し協力が支給された。 ・県から配送費の補助あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内をエリアで分け対応した ・グループLINEを作って情報共有を行った。 ・医師会と事前共有したため、突然の処方応需は回避できた。 ・各薬局で個別対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・非対応薬局に依頼があった ・もし、補助金がなかったら、薬剤師の給与が払えない可能性があった ・会員外の薬局でも対応できることはあったと思うが、会員薬局でとりまとめたため、負担がかかってしまったように思う ・配送の手間は、通常の在宅業務以上の負担。 ・勤務薬剤師が少ない店舗では薬剤師不在時間の発生 	<ul style="list-style-type: none"> 医師会・行政との更なる連携を図る ・パンデミック時のインフラ的薬局の為、時事の影響が大きい。 ・会員、会員外との薬局間連携・対応可能薬局の数を増やす ・対応薬剤師数の確保 	「地域活動」に該当する業務と認知してほしい	薬剤の自宅配送は薬局が担うので、薬剤の自宅配送まで含めて事業スキームを考えてほしい。
鶴見薬剤師会	応需薬局で各自で行った。		未確認				なし。		
港北区薬剤師会	コロナ薬を置いている店舗を中心に開始	2%→40%	特になし	Cov自宅と処方箋への記載を依頼	患者宅近くの薬局に依頼	患者が対応に出てきてしまった	お届けするシステムの構築	異動するのにロスがあるので、加算はなくさないで欲しい	お届けは時間がかかるので手当てを増やして
川崎市薬剤師会	フェイストゥフェイスが可能な配送業者と協力し、当日自宅配送を川薬として援助を行った。	薬剤師会の斡旋による日本宅配便協会と契約し、配送を行った店舗が91（約21%）。独自の運用により配送を行った店舗を含めれば全体で80%以上。	不明	本対応を行政には通達。	フェイストゥフェイスまたは玄関置き配を選択できるように調整。	平時における宅配業者と今後の連携をどのようにするかが問題点となる。	検討中		
相模原市薬剤師会	医師会に対応薬局リストを提供。開局時間や対応可能エリア、連絡先などをとりまとめ医師会、行政に提供した。会営薬局において、患者宅に郵送体制を取っていたが皆無であった。								
横須賀市薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・期間 2021年10月17日より2023年5月7日までの日曜日、祝日、年末年始 ・対応時間 9時~15時 ・横須賀市医師会と協力し、横須賀市内コロナ感染の自宅等患者に、処方薬を届けることができる薬局を募集し、1日1薬局を当番にして活動した。 ・稼働日数 2021年=16日 2022年=72日 2023年=29日 合計 117日 ・対応薬局数 延べ 117薬局 ・対応件数 延べ件数は未集計 1日当たり最多は、8件 ・市内の休日の在宅対応クリニックからの依頼で、市外にまでの配達にも対応した。 ・2023年5月、新型コロナウイルスが感染症分類第5類に変更されて、終了した。 	34%(26薬局)		横須賀市医師会へ情報提供を行い休日コロナ診療を行っている施設等の参考が利用できるよう周知した					
逗葉薬剤師会	神奈川モデル対応のため医師会より協力要請あり、休日においても輪番にて対応	35%	無	医師会より休日に実際に患者対応した薬局に対し報酬が支給された。	休日輪番については薬剤師会にて調整				
三浦市薬剤師会	17/17	100%	不明						
平塚中郡薬剤師会									

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
鎌倉市薬剤師会	医師会と連携しながら、日曜日、休日も配送可能な体制を組んだ。	5%	なし	当番薬局、薬剤師情報を医師会と共有した。	処方薬剤をある程度限定していただいた。				
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	神奈川モデルへの参画	14%		週ごとの輪番医・輪番薬局の共有 神奈川モデル会議への参加	開始当初は約束処方、コロナ治療薬発売後は手順の共有を行った	エリアが広いため配送のコスト・時間がかかる。		配送補助の継続 神奈川モデル事業を設計する時点で県業から要望を上げるべき。	神奈川モデルに参画する薬局への報酬が低すぎる。開始当初に薬局を想定していない事が問題。
茅ヶ崎寒川薬剤師会	医師会からの依頼を受け、会員薬局に対応の依頼を文章で行う。医師会には「コロナの患者のため、配送を依頼したい」との事を薬局に電話で依頼してからファックス等で対応していただくようにお話しした。								
秦野市薬剤師会	会員薬局に対応を要請、休日診療所は会営薬局が対応しました。	20%							
厚木薬剤師会	薬剤師会としては神奈川モデルでの薬剤師の派遣。あとは個々の薬局で対応	神奈川モデル以外は把握していない	把握していない	医師会と協力して神奈川モデルを遂行した。	薬剤師会でライングループを作り、件数が多い時は応援を呼べる体制を作った。	最近、表札がない家が多く配達先が合っているか確認するのが大変だった。	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	対応可能な薬局が手上げた個々に対応	不明	不明	なし	会としては特になし	会員の意識が低いため、まずはそこから始める必要あり	なし		
伊勢原市薬剤師会	コロナサポート秦野伊勢原に参加（9薬局で平日及び休日を輪番で対応）	30%	なし	医師会より協力費が支払われた。	各薬局の開局日、周辺地域に担当を設定	市外からの依頼に対しての対応	個々の薬局に依頼	なし	今後新たな配送が必要となる場合の点数化
海老名市薬剤師会	令和3年10月より地域療養の神奈川モデルの実施に伴い、調剤薬の配送（CoV自宅）を実施した。	15%	なし	医師会の医療機関と連携し進めた。また海老名市危機管理課と対応フローチャートを作成した。神奈川県危機管理課と毎月ミーティングを行った。	お薬の受け渡しについて、原則自宅の中に入らず、ポストへ投函またはドアノブにかけ必ずお届けしたことをご本人、ご家族に連絡をした。	お届けの際にご本人、ご家族が外出してしまい、連絡が取れない状況もあった。ご自宅に表札がない場合、住所が特定できない場合があった。	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会	地域の神奈川モデル協力薬局にて対応をした	21%	無し	日・祝当番は医師会より協力費が支払われた（原資は神奈川モデルの協力金と思われる）	無し	協力者を集めること（開設者以外の薬剤師は会社の許可が必要等）	いかに協力者を集めるか	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

6. 調剤薬の配送 (CoV宿泊)

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	神奈川県からの要請により、宿泊療養施設への薬剤配送に対応する薬局を紹介		なし	紹介後は神奈川県と薬局との間で対応	なし	当該薬局の業務負担など状況が横浜市薬剤師会では把握できない	県からの依頼の際に、条件を確認する	県と個別薬局の間の調整の前に、県薬剤師会として一定の関与・整理が必要	紹介要請にあたり、個別薬局に提供する情報と同様の情報を薬剤師会に提供すること
鶴見薬剤師会	宿泊施設の近い薬局が応需して行った。		未確認				なし。		
港北区薬剤師会	横浜市薬剤師会から宿泊施設近い薬局へ依頼	1~2%	特になし	処方早めに(時間を決めた)	1薬局だったのを2薬局に増やした	届けた後また連絡があった	連絡の徹底	現場はいいように使われていたので、現状をきちんと理解して	利用者に患者としての自覚を持たせて
川崎市薬剤師会	川崎市当局より宿泊施設への配送を委託され、宿泊施設近辺の会員薬局が受け持った。	ほとんど近隣の2薬局で対応。	不明	行政当局より依頼を受け、緊密な連携をとり業務に当たった。	診察希望者がいる日は処方せんの応需が可能か事前確認をしてもらう事とした。県の搬送調整班直通の電話番号を事前に確認し密に連絡を取れるようにした。	通常の診察時間終了間際か終了後に診察をする事が多く処方箋を受け取った時には疑義照会ができない場合があった。電話による服薬指導の為日本語を話せない外国人への対応が困難。			薬を届けた時に入り口で警備会社に対応するが、来た理由を毎回説明しなければならなかった。バスを使用する等対応をして欲しい。外国人に対応するための通訳が必要。
相模原市薬剤師会	医師会に対応薬局リストを提供。開局時間や対応可能エリア、連絡先などをとりまとめ医師会、行政に提供した。会営薬局において、患者宅に郵送体制を取っていたが皆無であった。								
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会	湘南国際村の宿泊施設には横須賀市薬剤師会の会員薬局が対応	0	無						
三浦市薬剤師会	12/17	70%	不明						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会	療養施設近辺の2薬局に担当依頼をした。		なし	なし					
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	神奈川モデルへの参画			三師会で定期的に会議を行い情報共有	宿泊施設から近い薬局へ依頼し対応	宿泊施設の利用率が非常に低く活用されていなかった			宿泊施設の利用基準や利用方法など不透明すぎて利用しづらい。
茅ヶ崎寒川薬剤師会	—								
秦野市薬剤師会	対応薬局なし	0%							
厚木薬剤師会	個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	医師会から連絡があり、前任会長時代に不明のまま対応薬局が決まっていた。	2薬局	不明	不明	不明	情報が公開されていないため不明			
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
海老名市薬剤師会	令和3年11月より地域療養の神奈川モデルの実施に伴い、調剤薬の配送（CoV自宅）を実施した。	15%	なし	医師会の医療機関と連携し進めた。また海老名市危機管理課と対応フローチャートを作成した。	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会	地域の神奈川モデル協力薬局にて対応をした	21%	無し	日・祝当番は医師会より協力費が支払われた（原資は神奈川モデルの協力金と思われる）	無し	協力者を集めること（開設者以外の薬剤師は会社の許可が必要等）	いかに協力者を集めるか	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

7. オンライン服薬指導

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	・会員店舗でシフトを作成し、医師会・行政と連携し対応を行った ・横浜市医師会と連携して、令和5年1月から3月の土曜日、14時から18時の時間にオンライン服薬指導を実施しました。 ・「0410対応」の初期、会員薬局へ「当会の方針として積極的に対応しましょう」と呼びかけ。（躊躇する薬局も散見されたため） ・各薬局にて個別対応	20%前後	なし	・対応薬局のリストを医師会に提出 ・横浜市医師会から協力金有り ・0410対応が可能かどうか、医師会から事前の相談があった	・区内をエリアで分け対応した ・0410対応に関する複数の資料を、会員が見やすいようにまとめて提供。 ・各薬局で個別対応	・非対応薬局に依頼があった ・在庫の医薬品で対応できるか不安があった（多くの医薬品が出荷調整中であった） ・処方する側が、0410対応をよく理解していない事例も散見され、対応に手間取った ・勤務薬剤師が少ない店舗では来局患者対応があり指導まで時間を要した	・医師会・行政との更なる連携を図る ・ある程度の約束処方的なものがあると安心する ・処方元（特に開業医）への情報周知 ・対応薬剤師数の確保	医師会へも、関連情報の共有を積極的に行って欲しい	・手厚い補助金を希望します。 ・当初は情報がバラバラに発出され整理が大変だった。最終的にはコロナ情報のまとめWebページが出来ていたが、最初から立ち上げて欲しかった。
鶴見薬剤師会	各薬局対応。	不明	未確認				なし。		
港北区薬剤師会	特に行わず								
川崎市薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	国よりの指針内容を危機対策会議において逐次報告。	会員への情報提供に留まる。	特になし	検討中		
相模原市薬剤師会	1か所の会営薬局において、同一建物内で実施していたオンライン診察の処方箋を応需した。								
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会									
三浦市薬剤師会	13/17	76%	不明						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	各薬局主導で対応	-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	-								
秦野市薬剤師会	会員薬局に対応を要請、休日診療所は会営薬局が対応しました。	80%							
厚木薬剤師会	個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	国よりの指針内容を危機対策会議において逐次報告。	会員への情報提供に留まる。	特になし	検討中		
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	海老名市薬剤師会主体としては実施しておらず、各会員薬局独自で対応を行った。	10%	なし	特になし	特になし	特になし	オンライン服薬指導を活用し、非対面での対応を考えていきたい。	特になし	特になし

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
座間市薬剤師会	地域の神奈川モデル協力薬局にて対応をした	21%	無し	日・祝当番は医師会より協力費が支払われた（原資は神奈川モデルの協力金と思われる）	無し	協力者を集めること（開設者以外の薬剤師は会社の許可が必要等）	いかに協力者を集めるか	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

8. 抗原検査キット販売

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	行政からの要請を会員に周知	不明	不明						
鶴見薬剤師会	会員薬局へ協力依頼を行いました。	80%	未確認				なし。		
港北区薬剤師会	横浜市薬剤師会、神奈川県の一覧に該当薬局を載せた	40%	特になし	神奈川県がリストを作成	会員にリスト掲載を依頼	記載があっても物が置いてない店舗が多数あった	全会員薬局の配置を目指す	リストの更新のしやすさ	リストの更新のしやすさ
川崎市薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	約70%	不明	特になし	ファックス等で会員に迅速に周知した。	資材が決定的に不足	次回発生時に検討予定		
相模原市薬剤師会	会員薬局が休みが多い年末年始（令和4年12月30日から令和5年1月3日）において、1か所の会営薬局にて抗原検査キットをOTCロキソニンSとともに販売した。それぞれ抗原検査キットは47個、ロキソニンSは4個販売した。								
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会	個々の薬局の判断により対応	40%							
三浦市薬剤師会	11/17	65%	不明						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会	販売薬局のリストを市薬剤師会のホームページに掲載した。			販売薬局のリスト（リンク先）を市のホームページに掲載してもらった。					
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	会員薬局へ県のHPへ掲載するよう周知	-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	会員薬局に販売対応を依頼を文章で行った。薬剤師会薬局でも対応した。また、会のHPで、販売薬局を周知した。	27%							
秦野市薬剤師会	会が販促のぼり旗と研修用キットを会員薬局に無料配布	85%							
厚木薬剤師会	個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	特になし	会員に迅速に周知した。	特になし	次回発生時に検討予定		
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	海老名市薬剤師会主体としては実施しておらず、各会員薬局独自で対応を行った。厚生労働省医薬・生活衛生局総務課から発信された医療用抗原検査キットの取り扱いについて会員薬局に周知した。	70%	なし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
座間市薬剤師会	会員薬局それぞれに任せた	把握していない	把握していない	年未年始の販売対応薬局のリスト提出を求められ、神奈川モデルの当番薬局を充てた	無し	神奈川県公表の販売薬局が初回登録のままで、販売薬局の数が少なかったため、購入希望者からの問い合わせが殺到した。	無し	無し	販売薬局の登録を随時出来るようにして欲しかった (リストに載っていないが販売を始めた薬局が周知されていないため、初期登録の薬局に購入者からの問い合わせが殺到)

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

9. 抗原検査キット無料配布

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	行政からの要請を会員に周知	不明	不明	行政の要請	なし	なし	なし	なし	なし
鶴見薬剤師会	県に申請した薬局で行った。	1%未満	未確認				なし		
港北区薬剤師会	会員薬局の意向に任せた。役員は実施するように心掛けた	15%	特になし	神奈川県の実業	近隣の薬局と在庫数確認	もらいに来る人がたくさんいて業務にならず	もっと、受け取りやすい工夫が必要	神奈川県薬剤師会の役員はやっていなかった	混乱を招かないやり方をお願いしたい
川崎市薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	約70%	不明	神奈川県の実業による無料配布を行った。	ファックス等で会員に迅速に周知した。	通常業務に支障が出る点	次回発生時に検討予定		
相模原市薬剤師会	会員が対応できるように行政からの案内をメルマガで周知した。								
横須賀市薬剤師会	会員薬局にて、市から提供を受けた抗原検査キットを無料配布した。配布個数は会員薬局で購入した抗原検査キット購入個数と同等。	51% (39薬局)	会委員薬局以外55件の薬局が横須賀市の事業に協力した	横須賀市からの依頼で協力。横須賀市のホームページで配布薬局一覧を公開した。		問い合わせの電話等で通常業務に支障が出た。			
逗葉薬剤師会	逗子市から相談はあったが、調達が難しく断念した。								
三浦市薬剤師会	2/17	12%	不明						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	会員薬局へ周知 小田原市で行った無料配布において配布方法を助言	-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	-								
秦野市薬剤師会	県に応募した薬局が対応	10%							
厚木薬剤師会	個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	神奈川県の実業による無料配布を行った。	会員に迅速に周知した。	通常業務に支障が出る点、市民からの無理難題が多すぎる点	次回発生時に検討予定		
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	海老名市薬剤師会主体としては実施しておらず、各会員薬局独自で対応を行った。厚生労働省医薬・生活衛生局総務課から発信された医療用抗原検査キットの取り扱いについて会員薬局に周知した。	70%	なし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会	会員薬局それぞれに任せた	把握していない	把握していない	把握していない	無し	無し	無し	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

10. PCR等無料検査（含抗原検査）

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	行政からの要請を会員に周知	不明	不明	行政の要請	なし	なし	なし	なし	なし
鶴見薬剤師会	県に申請した薬局で行った。	1%未満	ドラッグストアで行っていた。				なし。		
港北区薬剤師会	会員薬局の意向に任せた	10%	特になし	神奈川県の記事	特になし	無料配布とごちゃごちゃしている人がいた	特になし	特になし	無料配布と混乱しないように書いて欲しい
川崎市薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	約60%	不明	神奈川県よりの依頼により行った。	各区役員等、可能な薬局は参加してもらった。	通常業務に支障が出る点	次回発生時に検討予定		
相模原市薬剤師会	会員が対応できるように行政からの案内をメルマガで周知した。								
横須賀市薬剤師会									
逗葉薬剤師会	個々の薬局の判断により対応	5%	2件						
三浦市薬剤師会			県外の薬局 1 非会員薬局1						
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	会員薬局へ周知	-							
茅ヶ崎寒川薬剤師会	会員薬局に販売対応を依頼を文章で行った。薬剤師会薬局でも対応した。また、会のHPで、無料検査対応薬局を周知した。	15%		行政のHPにも掲載されていた。					感染の可能性もある方も検査できるように読み取れる表記だった。もう少しわかりやすい表記にしてほしい。請求方法が複雑でわかりにくかった。
秦野市薬剤師会	対応薬局なし	0%	1 薬局が対応			検体受付でなく、PCR検査機器を購入して薬局で検査すると勘違いした薬局が多数あった。		要請内容を詳しく説明するべきであった。	
厚木薬剤師会	個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	会員へ情報提供に留まる。	不明	不明	神奈川県よりの依頼により行った。	不明	不明	次回発生時に検討予定		
伊勢原市薬剤師会	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
海老名市薬剤師会	海老名市薬剤師会主体としては実施しておらず、各会員薬局独自で対応を行った。	30%	なし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
座間市薬剤師会	会員薬局それぞれに任せた	把握していない	把握していない	把握していない	無し	無し	無し	無し	無し

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

11. コロナ治療薬（抗ウイルス薬）備蓄

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	供給を担う薬局の選定	3%	なし	行政による配分枠の設定	なし	なし	なし	なし	なし
鶴見薬剤師会	各薬局に任せている。 施設用に1件薬局を設けた。		未確認				なし。		
港北区薬剤師会	まず、中心に置いておく薬局を決めた。流通が広まってからは会員薬局の自主性に任せた	2→40%	特になし	配置薬局を医師会と共有	地域を分けて配置	遠くまで配達で時間を取られた	全会員薬局の配置を目指す	もっと手当が欲しい	もっと手当が欲しい
川崎市薬剤師会	特に行っていない		不明	神奈川県よりの依頼により行った。	各区数店舗は揃えるべく各区薬剤師会にも協力を依頼した	発熱外来を行っている医療施設の具体的な情報が錯綜し、患者・薬局とともに混乱があった。	10月よりの患者負担金発生により、需要の予測が難しい。（高薬価の為、全薬局に常時備蓄は現実的ではない）		
相模原市薬剤師会	ラゲブリオを会営薬局にて在庫した。								
横須賀市薬剤師会	流通制限下での経口コロナ薬取扱薬局を募集し、とりまとめを行った。	14% (11薬局)	会員薬局以外9件の薬局が取扱薬局として県のホームページ上に公開した	神奈川県ホームページ上に公開した					
逗葉薬剤師会	希望する薬局にて備蓄していただいた。	35%							
三浦市薬剤師会	17/17	100%							
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会	備蓄薬局を募集し、医師会へ備蓄薬局の共有			医師会へ備蓄薬局の情報を共有	地域に偏在しないよう備蓄薬局を配置	国から降りてくる情報が遅く対応する時間が限られてしまった		国から降りてくる情報が遅く対応する時間が限られてしまった	対応の決定を迅速化してもらいたい
茅ヶ崎寒川薬剤師会	件数が絞られている初期については、対応が可能な薬局を選び、該当薬局に直接依頼した。その後は登録方法などを会のHPで周知した。								
秦野市薬剤師会	会員薬局に備蓄を要請、会営薬局でも備蓄した。	40%							
厚木薬剤師会	薬剤師会としては推薦した薬局は把握しているがあとは個々の薬局で対応	把握していない	把握していない	無	無	無	無	無	無
大和綾瀬薬剤師会	特に行っていない	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
伊勢原市薬剤師会	休日夜間薬局にてラゲブリオ・ソコーバを備蓄	26%	なし	医師会とコロナ治療薬の処方について都度話し合いを行っている	提供できる薬局のリスト化	薬価が高額の為、在庫をあまり持てない	現状維持	なし	なし

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県薬・日薬への要望	行政への要望
海老名市薬剤師会	会員薬局の中で備蓄している薬局の調査を行った。	25%	なし	コロナ治療薬を備蓄している会員薬局の情報を医師会に周知した。	特になし	コロナ治療薬の備蓄数について偏りが見られた。	コロナ治療薬を必要量備蓄している薬局を増やし、医療機関が備蓄している薬局を把握できる体制を引き続き作っていきたい。	特になし	特になし
座間市薬剤師会	会長薬局を拠点薬局とした	把握していない	把握していない	無し	無し	必要な時に薬局間分譲が出来なかったこと	無し	無し	早期の薬局間分譲の解禁がなされなかったことで、拠点薬局としての役割が果たせなかった。この点を反省してもらいたい。

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

12. その他

地域薬剤師会名	活動内容	およその会員参加率 (%)	会員以外の参加者	医師会・行政等の関与	工夫した点	問題となった点	今後の対応策	県業・日業への要望	行政への要望
横浜市薬剤師会	医師会で行ったPCR検査事業への協力	5%		運営を行う上でのシミュレーションを協議した。					
鶴見薬剤師会									
港北区薬剤師会									
川崎市薬剤師会								コロナ禍に於いて薬剤師が果たした役割は大変大きなものであった。是非、県民に向けて分かり易い形でアピールをして欲しい。	
相模原市薬剤師会									
横須賀市薬剤師会 (コミュニティ希釈方法研修会の実施)	横須賀市薬剤師会会館にて集団接種会場でのコミュニティ調整に参加、協力できるよう、横須賀市薬剤師会理事；小林路子を講師として横須賀市薬剤師会館にてコミュニティの調整トレーニングを実施した	6% (16人)	横須賀市薬剤師会会員以外28人の薬剤師が参加	横須賀市からの、大規模接種会場での調整協力依頼有り	使用済みのバイアル、針、シリンジを使用した疑似体験を実施した				
横須賀市薬剤師会 (会員薬局向け学術研修会のオンライン化)									
逗葉薬剤師会									
三浦市薬剤師会									
平塚中郡薬剤師会									
鎌倉市薬剤師会									
藤沢市薬剤師会									
小田原薬剤師会									
茅ヶ崎寒川薬剤師会									
秦野市薬剤師会									
厚木薬剤師会									
大和綾瀬薬剤師会									
伊勢原市薬剤師会									
海老名市薬剤師会									
座間市薬剤師会									

コロナ禍における地域薬剤師会の取組調査

13. 自由記載欄

薬剤師会名	内容
横浜市薬剤師会	
鶴見薬剤師会	
港北区薬剤師会	
川崎市薬剤師会	
相模原市薬剤師会	ワクチン希釈業務開始前に横浜市薬の研修会に参加させていただき大変参考になりました。また、各エリアでの対応状況について地域職域会長会で情報共有いただいたことも大変助かりました。
横須賀市薬剤師会	
逗葉薬剤師会	
三浦市薬剤師会	
平塚中郡薬剤師会	
鎌倉市薬剤師会	
藤沢市薬剤師会	
小田原薬剤師会	
茅ヶ崎寒川薬剤師会	
秦野市薬剤師会	
厚木薬剤師会	
大和綾瀬薬剤師会	
伊勢原市薬剤師会	
海老名市薬剤師会	
座間市薬剤師会	